

事務事業名	御殿場駅東西自由通路管理事業	整理番号	33202-000
所 管	市街地整備課街路・区画スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	昭和 63年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	御殿場市条例
基本計画における位置付け	基本政策 3-2 ゆとりと潤いのある市街地整備の推進	関連政策	2-4-2 防犯体制の充実
	政 策 3-3-2 交通関連施設・体系の整備	政策	2-4-1 交通安全の推進

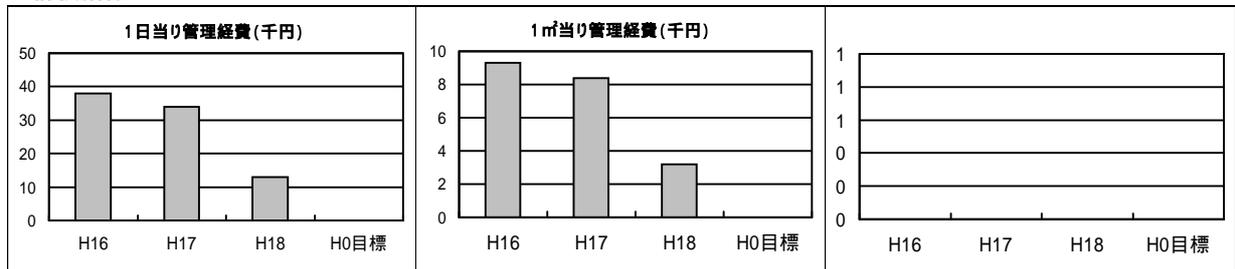
事務事業の内容

目的 (何のために)	利用者の安全・利便性・快適性の向上・駅前周辺の活性化
対 象 (誰・何を)	御殿場駅自由通路内
手 段 (どのようなやり方で)	修繕、業務委託による施設の維持管理
成 果 (どのような状態にしたいか)	安心・安全で清潔感のある施設を提供することにより集客力・活性化の向上につながる。
事務事業の背景・住民の意向	昭和 63 年に駅舎改築をし、東西自由通路の開通により JR 乗降客及び周辺住民の利便性が図られた。平成 12 年～13 年にバリアフリー化として富士山口、乙女口にそれぞれエレベーターの設置を行った。
見直し改善の経過	

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)																
平成16年度	エレベーター保守点検、自由通路内清掃、ガラス清掃、施設内の維持管理、自由通路内屋根修繕	<p>投入コスト(千円)</p> <p>■直接経費(上段) □人件費(下段)</p> <table border="1"> <caption>投入コスト(千円)の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>直接経費(千円)</th> <th>人件費(千円)</th> <th>合計(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16年度</td> <td>15,000</td> <td>5,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>17年度</td> <td>12,000</td> <td>3,000</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>18年度</td> <td>5,000</td> <td>1,000</td> <td>6,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	直接経費(千円)	人件費(千円)	合計(千円)	16年度	15,000	5,000	20,000	17年度	12,000	3,000	15,000	18年度	5,000	1,000	6,000
年度	直接経費(千円)		人件費(千円)	合計(千円)														
16年度	15,000		5,000	20,000														
17年度	12,000	3,000	15,000															
18年度	5,000	1,000	6,000															
平成17年度	エレベーター保守点検、自由通路内清掃、ガラス清掃、施設内の維持管理、自由通路内屋根修繕																	
平成18年度	エレベーター保守点検、自由通路内清掃、ガラス清掃、施設内の維持管理																	

評価指標



事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	きれいで利用しやすい施設、駅前広場の整備と周辺の関連道路も歩車道が整備されているため、歩行者の回遊性が増し施設利用者も増え駅前周辺の活性化につながる。	継続
	有効性		
	効率性		
一次評価	A		継続
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	今後の方向性
二次評価	B	維持管理の質の向上を図りたい。	継続

改革プラン

平成19年度からの対応	従来どおりの維持管理を行っていく。
平成20年度以降の対応	従来どおりの維持管理を行っていく。
改革により予想される成果	通路内の安全確保